

マイタウン ガイド ～花岡編～

土目内・繫沢簡易水道を改良

二井山地区にも給水

土目内・繫沢簡易水道は、水量が少なくなってきたり、また井戸水の濁りに悩んでいる二井山地区へも給水するため、市では簡易水道の改良工事を行うことになりました。

現在の簡易水道は、七百六十四人が利用し、一人一日当たり百リットルの利用ができることになっていますが、改良工事を行うことで給水人口は千人、一人一日百七十リットルまで使えるようになります。

工事は、約五千万円の予算で、

今月下旬に着手し、十月末ごろには二井山地区へも給水できるようになります。

この改良工事について地区の方に聞いてみました。

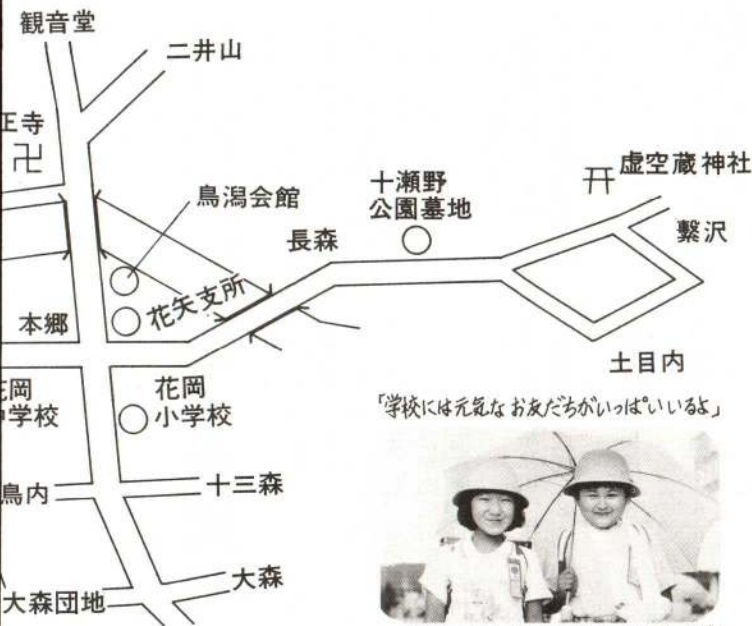
▽高杉義勝さん(繫沢)

この簡易水道は古くなってきたためか、ときどき水の出がよくなるときもあります。この改良工事を行うことで安心して水を使えるようになると思います。水枯れしたときに、昼夜を問わず簡易水道を見に来てくれた水道課の皆さん

にはたいへん感謝しています。また水不足で困っている二井山の人たちの話を聞いて心配していましたが、二井山地区へも給水されることになってたいへん良かったです。

▽藤盛愛子さん(二井山)

地区の人たちは、簡易水道が通るといふことでみんな喜んでいました。どこの家庭でも井戸水を利用していますが、水枯れになるとたいへんでした。特に冬期に水枯れし、食事の準備をするため白沢の御膳水まで汲みに行ったこともあります。水がないことはたいへんつらいことです。この水道が一日も早く完成することを願っています。



われら
サークル仲間

ボーイスカウト 秋田第四団

ボーイスカウトの仲間、全世界に千四万人。日本では三十万人の団員がいます。小学五年生以下のカブスカウトは「いつも元気」、小学六年生以上のボーイスカウトは「そなえよつねに」をモットーに、奉仕の精神を身につけ、いざというときに役立つための訓練を続けています。

昭和三十年に花岡地区にも「秋田第四分団」が結成され、七十人の団員で活動してきました。

現在は、団員が三十人と少なくなりましたが、大山や十瀬野公園などでキャンプをしながらスカウト精神の実践や生活訓練、地区の公園などのクリーンアップなどの活動をしています。

同団を結成当時から指導してきた田村正さんは、「最初のころは、



仕事をしながらのボーイスカウト活動でしたので、たいへん苦勞をしました。ときには、子供たちが職場にむかえにくることもありましたが。今思うと、雨やあらしの中でのキャンプなど心にものこる思い出がたくさんあります」と顔をほころばせながら話していました。

同団では、入団者を募集しています。花岡地区外の方でも歓迎とのこと。希望される方は、花岡公民館(☎46-1161)へ申し込みください。

たずね歩き

鳥湯会館

鳥湯会館は、元京都帝国大学名誉教授鳥湯隆三博士や、無線電話機の発明で世界的に注目された工学博士鳥湯右一、それに欧州において奇術、軽業興業で有名な鳥湯小三吉の生家建物、三百年余の歴史を持つ旧家で、昭和十一年から約五年の歳月を要して、延べ千人をこえる京都の



大工、左官等の手によって、その一部の補修と増築をしたものです。また庭づくりも京都から造園師を招き、京都の鞍馬石を運んできて使うなど京風的情緒豊かな庭園として、建物とともに県内でも有数の文化資産といわれています。昭和二十六年には「鳥湯家」から当時の花岡町に寄贈され、これ以後「鳥湯会館」として会議、研修会、懇親会、お茶会など一般に開放しています。

また、鳥湯会館の土蔵を改装して「郷土資料庫」にしています。

同資料庫には古い農具や民具、鉾山関係資料、江戸時代に花岡村の肝煎を勤めた旧鳥湯家に伝わる衣類や